

2022年度 事業報告

社会福祉法人 和生福会

1. 2022年度 事業報告の概要

- 業績等
 - 収益
 - 法人全体の収益は前年度とほぼ変わりなし。
 - 施設でコロナクラスターが発生したことにより、ショート受入ができず前年度比89.5%となったが、デイで前年度比110%、居宅で前年度比136%の収益となった。
 - 稼働率
 - 入所系サービスで特養は100%をなんとか維持、短期入所は75.1%の平均稼働率となり9.1%下った。
 - 通所系サービスは、昨年度平均稼働率が79.5%だったが、今年度は88.2%となり8.7%上がった。要介護比率も1.4%上がった。
 - 居宅サービスではケアマネを増員し、特定事業所加算Ⅲ算定できた。
 - 収支改善
 - 法人全体の収支差額は前年比35.5%となった。
 - 高圧ケーブル復旧工事費用、コロナ感染者対応の為の費用と電気代高騰により事業費が増加した。
 - 昨年に引き続き業務の効率化の実施と適材適所人員配置の実施。
- サービスの質
 - コロナ禍であっても、密を避け感染防止対策を実施したうえで出来るレクリエーションを模索し、QOLとADLの維持向上を目的とした余暇活動の企画、実施した。
 - 利用者個々に応じた車椅子等福祉用具を選定し、使用頂けるようにした。
 - 岸和田平成病院の言語聴覚士に来苑頂き関連職種へ指導を行ってもらった。
- 人材の確保、育成
 - 介護職員、調理師の退職に伴う人員補充に努めた結果、年度末に職員紹介等で次年度よりの入職が決まった。
 - 事業所内フロア異動による人員配置の適正化を行った。

- 研修の実施
 - 新入職員や介護未経験者に対するOJT研修体系の確立
 - 職種、経験や個人の特性に即した研修の実施(WEB活用)
- キャリアパス制度の整備など人事管理、制度の適正化継続中
- 令和4年度介護福祉士試験合格者3名

- グループ内の連携
 - 相互に連携、協力体制をもち、ノウハウなどの利点を最大限に生かす。
 - 勉強会、技術交流や情報共有の実施

- 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルス予防に配慮して「いきいき百歳体操」実施
 - 年2回自治会主催「美化運動」へ参加

- 新規事業、改修工事
 - LED化を計画的に実施(本館2階)
 - 高圧ケーブル復旧工事

- 新型コロナウイルスへの対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策の徹底
 - 和歌山県や平成医療福祉グループよりの情報提供と通達指示を受け実施
 - BCPの更新
 - クラスタ発生はあったが、BCPを活用し対応した結果、感染拡大は防ぐことができた。

- 新型コロナウイルス感染症に関する補助金
 - 両立支援等助成金
 - 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金

- 物価高騰・水光熱費高騰に関する補助金
 - 社会福祉施設等原油価格・物価高騰対策支援金
 - 国の節電プログラム促進事業(国参加特典 関西電力)

2. 運営状況(稼働率、利用者数)

※()の数値は対前年度の増減

高齢者事業

- 特養(稼働率)

事業所名	2021年度	2022年度
緑風苑 (入所)【100名】 (ショート)【20名】	100.0% 84.2%	100.0%(±0%) 75.1%(▲9.1%)

- 通所介護(稼働率)

事業所名	2021年度	2022年度
平成デイサービスセンター海南【22名】	79.5%	88.2%(+8.7%)

- 居宅(ケアプラン数)

事業所名	2021年度	2022年度
緑風苑居宅介護事業所(要介護) (要支援)	684件 291件	785件(+101件) 445件(+154件)

2023年 6月 6日

2022年度 事業報告

社会福祉法人 和生福会

対象事業所

高齢者事業

緑風苑(特養)【定員:入所-100名 ショート-20名】

平成デイサービスセンター海南(通所介護)【定員:22名】

緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

高齢者事業

緑風苑(特養)【定員:入所-100名 ショート-20名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 特養:前年度よりの加算継続算定、介護報酬改定による新規加算介護職員等ベースアップ等支援加算算定により増収(100.3%)
 - ショート:コロナ感染者クラスター発生による稼働率低下により減収(89.5%)
 - サービス提供体制強化加算 I を算定できたため、平均単価はUPした。
 - 稼働率
 - 特養:100%維持
 - ショート:月々で変動があったが9.1%減少の75.1%
 - 収支改善
 - コロナ禍で収益減少、物価高騰等で費用増加により、収支は前年度比35.5%
 - 医療依存度の高い方の積極的な受入れを継続的に行っているが、受け入れ困難な事例の相談も多々あり、スムーズに受け入れができなかった。
 - サービスの質
 - 利用者最優先で、個々の技術面のみならずチームとして高品質な介護サービスの提供体制の推進
 - 昨年に引き続き、利用者や家族、また地域のニーズに沿って、近隣の医師の協力と当苑配置医師の連携の下、看取り期に入った利用者様の看取り実施を行うことができた。
 - コロナ禍で感染予防のため、面会制限を行ったが、感染傾向を確認しながら、テラス面会、オンライン面会、ガラス窓越し面会等を行い、利用者様にもご家族様にも安心して頂けるよう努めた。
 - コロナ感染予防のために、施設利用者全員が集まるようなレクリエーションは出来なかったが、各フロア単位で工夫したレクを行い、利用者様に楽しんで頂けた。家族様には、レクリエーション等の写真を毎月のお手紙に同封してお送りし喜んで頂けた。

- 人材の確保、育成
 - 介護職員・厨房職員の退職があり人材不足となったが、次年度には必要な入職者を確保することができた。
 - Eラーニングを利用し、各フロアPCにて研修動画を視聴できるようにすることで、全職員が研修に参加できた。
 - 今年度も継続し「職員満足度調査」を実施した。職員からの前向きな意見を取り入れたり、問題点を洗い出し解決に導けた。

- 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルス予防に配慮して「いきいき百歳体操」実施
 - 年2回自治会主催「美化運動」へ参加

- 改修工事及び備品購入
 - LED照明取付工事(本館2階)
 - 高圧ケーブル復旧工事
 - 電子錠操作盤更新工事
 - 福祉車輛購入(車いす対応ハイエース)
 - A3カラー対応複合機購入
 - 特殊浴槽(カトレア)入替(本館2階)
 - モジュール車椅子購入(買替)17台
 - アシストスーツ(J-PASフレアリー本体)購入

● 主な指標

○ 入所

※()の数値は対前年度の増減

	2021年度	2022年度
稼働率	100.0%	100.0%(±0%)
平均要介護度	3.8	3.7(▲0.1)
単価(人・日)	14,039円	14,023円(▲16円)

○ ショート

	2021年度	2022年度
稼働率	84.2%	75.1%(▲9.1%)
平均要介護度	3.5	3.3(▲0.2)
単価(人・日)	14,174円	14,263円(+89円)

平成デイサービスセンター海南(通所介護)【定員:22名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 毎年積み重ねてきた平成デイ海南のサービスを地元の方々に知って頂くことができ、新規の問い合わせや体験利用が毎月1~2名あった。
 - コロナ感染者があり保健所指示の営業停止日があり、その時期は稼働率が低下したものの収益は前年度比110.2%で増収となった。
 - 稼働率
 - 2021年度平均稼働率が79.5%だったが、今年度は88.2%となり8.7%上昇した。
 - 収支改善
 - 収益が増えた分、収支改善できた。
 - サービスの質
 - QOLとADLの維持向上を目的としたレクリエーション実施
 - 自宅でも楽しんで頂ける(お持ち帰りして)作品作り
 - 感染予防対策に利用者様にもご協力頂き、ご自宅でも行って頂いた。
 - 個別リハビリ実施
 - 夕食サービス実施
 - 人材の確保、育成
 - Eラーニングを利用し、PCにて研修動画を視聴できるようにすることで、全職員が研修に参加できた。
 - 職員の退職はなかった。

- 主な指標

※()の数値は対前年度の増減

	2021年度	2022年度
稼働率	79.5%	88.2%(+8.7%)
平均要介護度	2.2	2.2(±0)
単価(人・日)	9,297円	9,385円(+88円)

緑風苑居宅介護支援事業所(居宅)

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 特定事業所加算Ⅲの算定
 - 要介護・要支援の担当件数増加により増収
 - ケアマネ1名増員により増収
 - 収支改善
 - 件数が増え収益は増えたが、人件費も増えたため収支改善に至らなかった。
 - サービスの質
 - 地域ケア会議に出席し、事例検討をすることで、自己研鑽しサービスの質向上に努めた。
 - 他事業所との合同研修実施
 - 人材の確保、育成
 - Eラーニングを利用し、PCにて研修動画を視聴
 - ケアマネ3名体制(特定事業所加算Ⅲ算定)
- 主な指標 ※()の数値は対前年度の増減

	2021年度	2022年度
ケアプラン数(要介護) (要支援)	684件 291件	785件(+101件) 445件(+154件)
平均要介護度	2.3	2.5(+0.2)
単価(人・月)	10,756円	11,635円(+879円)